

事業所名

そくしん渡波

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025年

2月

1日

法人（事業所）理念	当法人は子どもたちひとりひとりの持つ魅力を大切に、互いに愛情を示し合いながら、心と身体の発達を「促進(そくしん)」します。									
支援方針	そくしんでは、「心と身体の健康を促進」「コミュニケーション能力を促進」「社会性を促進」「学習する力を促進」という4つの柱で子供たちの成長をサポートします。同時に児童の個性を大切にしながら社会性を育むことを目指して支援します。また、児童の生活能力の向上のために必要な訓練を行い、社会との交流を図ることができるよう、児童の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行います。足採みを取り入れた療育を状況に応じて実施して児童の健全な発達育成に努めます。									
営業時間	平日 土曜・祝日	13 8	時 時	00 30	分から 18 17	時 時	00 30	分まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	検温等による健康チェック、荷物の整理整頓、食事・整容面でのサポート、姿勢保持、トイレトレーニングなどの療育支援により、自分の身の回りのことは自分でできるように寄り添います。外出活動や様々なイベントを通して自然に触れ、季節を感じ、身体を動かすことで子どもたちの健やかな発達を支援します。食育活動を通して、一緒に楽しくおやつや昼食を作ったり食事をしたりする機会を大切にします。足もみによるリラクゼーションや児童の健康をサポートするプログラムも選べます。								
	運動・感覚	基本プログラムとして、はじめの会の後のリズム歩行やラジオ体操で心と身体を整えてから活動が始まります。輪投げゲーム、ボーリング遊び、新聞紙玉入れ、雑巾がけレース、室内ボール遊び、座布団キャッチなどで楽しく体を動かしながら身体機能の向上を図ります。外出活動では近くの公園に出かけて遊具遊びや追いかけっこ、ごっこ遊びなどで運動能力の向上をサポートします。ダンボール工作や輪っか作り、粘土遊びなどの各種クラフト活動を通して得意分野や強みを伸ばします。								
	認知・行動	はじめの会や子ども会議を通してその日の活動やプログラムを子どもたちと一緒に確認し見通しを持てるようサポートします。アナログやデジタルの時計やキッチンタイマーなどを使い時間の概念形成をお手伝いしています。おやつを活用したお買い物トレーニングではお金の使い方はじめ、順番を待つことや落ち着いて列に並ぶことを学習します。学校の宿題に加えて、一人ひとりの興味や関心に沿って教材を準備し、子どもたちの学習する力を一步一步育てています。学校の先生や保護者の皆さまと連携し、同じチームとして子どもたちをサポートします。								
	言語 コミュニケーション	集団療育や遊び、はじめの会などを通して言葉や動作、表情によるコミュニケーションの機会を提供しています。自分の気持ちを表現したいと思えるようにサポートしています。歌を歌ったりダンスをしたりし、コミュニケーションのための身体面の機能の成長も促しています。								
	人間関係 社会性	アットホームな雰囲気施設の施設やスタッフたちに囲まれた活動の中で、ルールや約束、決まりを守ることの大切さを学習できます。公園や体育館、複合施設、児童館など様々な公共施設を利用し地域の大人や子どもたちと交流することを通して社会性が身についていくようサポートしています。								
家族支援	事業所通信（ぐっどふれんど）の配布、保護者やきょうだいの自由参加型イベントの開催、児童の発達や特性に関する相談援助や助言など。				移行支援		学校やその他関係機関との情報共有、地域の公園や児童館での同年代の子どもたちとの交流の機会の提供、進級や進学など進路に関する相談援助など。			
地域支援・地域連携	公共交通を利用した買い物学習、ボランティア活動の一環による公園清掃、民間企業の出前講座などを通してソーシャルスキルを磨く機会を提供しています。				職員の質の向上		定期的な事業内研修の実施、必要に応じて外部研修への参加に加えて、日々のミーティングや振り返りの際に療育支援に関する助言や指導の場を設けています。			
主な行事等	新入生歓迎会、お花見、買い物学習、収穫体験、流しそうめん、出前講座、各種工場見学、芋煮会、焼き芋パーティー、凧あげ、カフェ企画、そくしん卒業式、避難訓練（防災学習）など。									